

道徳科 × 未来そうぞう 実践事例

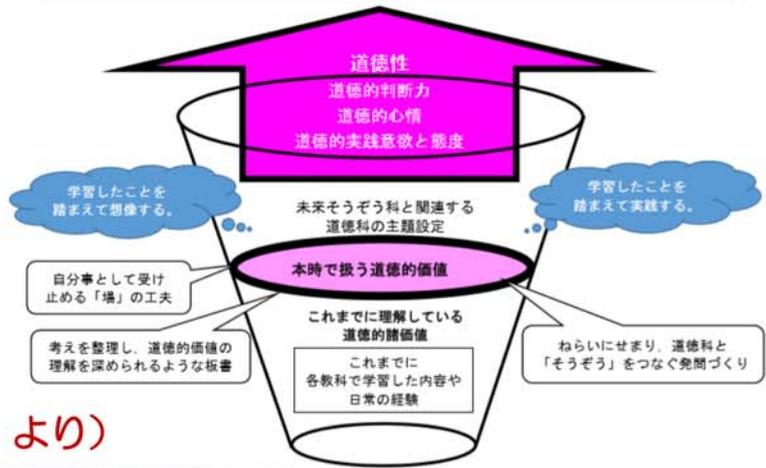
大阪教育大学附属平野小学校
寺西 克倫

研究主題 **よりよい未来を「そうぞう」するために、自己の生き方についての考えを深める子ども～問題を自分事として捉えて、未来への見通しを持つ道徳科の授業～**

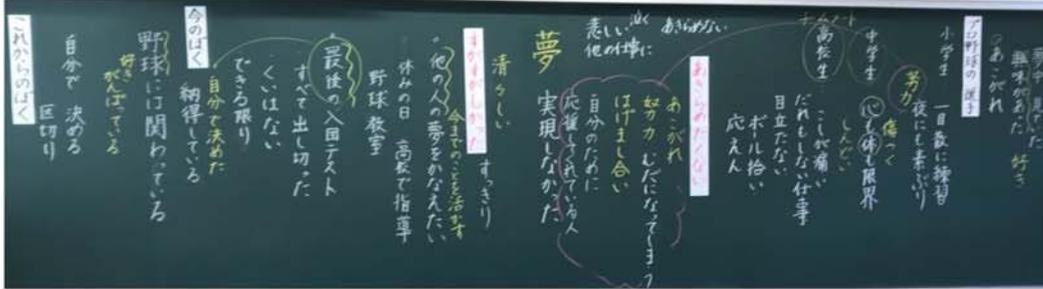
未来を「そうぞう」する子どもの育成に向けて、答えのない問題にも納得し合える納得解を導き出すことが必要である。そのために、問題を自分事として捉えたり、他者と対話して多様な価値観を肯定的に受け入れたりして、よりよい未来を「そうぞう」するための道徳性を養っていく。

よりよい未来を「そうぞう」するために、自己の生き方についての考えを深める子ども

そうぞうの実践力を発揮している姿
よりよい未来を「そうぞう」するために、道徳的諸価値に関する問題について、人間としてのよりよい解決を行うために、自分の意志や判断にもとづいて未来を見通して自己実現を図ろうとする道徳性。



6年実践「夢」(東京書籍「新しい道徳6」より)



「夢」の教材について
小さい頃からプロ野球選手になることを夢見て、努力を重ねてきたが、主人公「ぼく」の夢はかなわなかった。しかし、「ぼく」の心はずががしく、さわやかである。それはどうしてかを深く考えていく。

未来そうぞう科の6年A領域の「My LIFE」に関連する主題の内容として、「夢」の学習を行った。未来そうぞう科との関連を図ることで、道徳科で考えたことが「My LIFE」の学習での「想像」や「創造」の活動に活かされると考える。

そうぞうの実践力につなげるための手立て

- 自分事として受け止める「場」の工夫**
子どもたちが「教材」「自分」「他者」と対話しながら、自己の生き方についての考えを深めて納得解を見出せるようにする。他者と関わりながら、道徳的な望ましさを自分事としてとらえる「場」を設定する。
- ねらいにせまり、道徳的価値と「そうぞう」をつなぐ発問づくり**
自分の本音の気持ちの部分で考えていくために発問を精選し、子どもたちの気持ちを揺さぶっていくことが求められる。そして、自己の生き方についての考えを主体的に深めていくためには、子ども自身が問題意識を持ち、問題解決の流れが大事にされた授業展開を行っている。
- 考えを整理し、道徳的価値の理解を深められるような板書**
本時の学習で、最も考えさせたいところ(話し合わせたいところ)を中心に板書を構成するようにして、登場人物(主人公)の考えの変容などを対比し、心の動きが分かる構造的な板書を考えていく。
- 未来そうぞう科と関連を図る道徳科の主題設定**
未来そうぞう科の学習と道徳科の主題の関連を図ることで、道徳科の時間に考えた解決方法を実践する場を意識することができ、道徳的実践意欲と態度をより育むことができる。

学習活動と子どもの意識			教師の役割	評価	
道徳科	未来そうぞう科	他教科	未来そうぞう科	道徳科	そうぞうの実践力
1. なりたい自分について考える。① OOにふさわしい ～な夢で卒業したい ～な夢を過ごしたい	1. スポーツの力 2. 夢のアザガオ 3. それ以外、My Dream 4. 夢を達成するための準備 5. 夢を達成するための準備 6. 夢を達成するための準備	プロフェッショナル(職業)	・「なりたい自分」を想像して、自分の夢を現実世界に近づけようとする。自分の現状を把握できるようにする。 ・友だちの意見を聞いて、自分なりにイメージを広げ、自分の目標と見合わせるようにする。そして、自分の考えを再確認できるようにする。 ①②③自分の特徴をとり入れ、よりよい夢をどうにかする(場を築く) ・職業を体験することで、未来への見通しをもち、「未来の自分」を想像できるようにする。 ・自分の未来と比較しながら夢を語るようにする。 ・夢についている人の気持ちに寄り添うようにする。 ・「夢」が実現したとしても、努力し続けることの意味が分かるようにする。 ・うかがった夢を友だちと交流することで、自分の考えと友だちの考えを比べ、新たな視点に気付くようにする。 ・「未来の自分」を想像して、未来	①道徳教育の生き方から、よりよい生き方について考える。 ②夢を実現する人の気持ちに寄り添う。道徳的価値について考える。 ③自分の価値について客観的に捉えようとしている。	「なりたい自分」を想像して、自分について客観的に見つけている。(主)
7. 夢を実現するための準備 8. 夢を実現するための準備 9. 夢を実現するための準備	10. 夢を実現するための準備 11. 夢を実現するための準備 12. 夢を実現するための準備		・「なりたい自分」を想像して、自分の夢を現実世界に近づけようとする。自分の現状を把握できるようにする。 ・友だちの意見を聞いて、自分なりにイメージを広げ、自分の目標と見合わせるようにする。そして、自分の考えを再確認できるようにする。 ①②③自分の特徴をとり入れ、よりよい夢をどうにかする(場を築く) ・職業を体験することで、未来への見通しをもち、「未来の自分」を想像できるようにする。 ・自分の未来と比較しながら夢を語るようにする。 ・夢についている人の気持ちに寄り添うようにする。 ・「夢」が実現したとしても、努力し続けることの意味が分かるようにする。 ・うかがった夢を友だちと交流することで、自分の考えと友だちの考えを比べ、新たな視点に気付くようにする。 ・「未来の自分」を想像して、未来	④仕事について意見を述べ、自分なりに価値を見出している。 ⑤「夢」が実現しなくても、努力し続けることの意味が分かるようにする。 ⑥うかがった夢を友だちと交流することで、自分の考えと友だちの考えを比べ、新たな視点に気付くようにする。	うかがった夢を友だちと交流することで、自分の考えと友だちの考えを比べ、新たな視点に気付くようにする。

学習活動と子どもの意識			教師の役割	評価	
道徳科	未来そうぞう科	他教科	未来そうぞう科	道徳科	そうぞうの実践力
13. 夢を実現するための準備 14. 夢を実現するための準備 15. 夢を実現するための準備	16. 夢を実現するための準備 17. 夢を実現するための準備 18. 夢を実現するための準備		・「なりたい自分」を想像して、自分の夢を現実世界に近づけようとする。自分の現状を把握できるようにする。 ・友だちの意見を聞いて、自分なりにイメージを広げ、自分の目標と見合わせるようにする。そして、自分の考えを再確認できるようにする。 ①②③自分の特徴をとり入れ、よりよい夢をどうにかする(場を築く) ・職業を体験することで、未来への見通しをもち、「未来の自分」を想像できるようにする。 ・自分の未来と比較しながら夢を語るようにする。 ・夢についている人の気持ちに寄り添うようにする。 ・「夢」が実現したとしても、努力し続けることの意味が分かるようにする。 ・うかがった夢を友だちと交流することで、自分の考えと友だちの考えを比べ、新たな視点に気付くようにする。 ・「未来の自分」を想像して、未来	⑦自分の夢を思い描き、自分なりに価値を見出している。 ⑧「夢」が実現しなくても、努力し続けることの意味が分かるようにする。 ⑨うかがった夢を友だちと交流することで、自分の考えと友だちの考えを比べ、新たな視点に気付くようにする。	うかがった夢を友だちと交流することで、自分の考えと友だちの考えを比べ、新たな視点に気付くようにする。
19. 夢を実現するための準備 20. 夢を実現するための準備 21. 夢を実現するための準備	22. 夢を実現するための準備 23. 夢を実現するための準備 24. 夢を実現するための準備		・「なりたい自分」を想像して、自分の夢を現実世界に近づけようとする。自分の現状を把握できるようにする。 ・友だちの意見を聞いて、自分なりにイメージを広げ、自分の目標と見合わせるようにする。そして、自分の考えを再確認できるようにする。 ①②③自分の特徴をとり入れ、よりよい夢をどうにかする(場を築く) ・職業を体験することで、未来への見通しをもち、「未来の自分」を想像できるようにする。 ・自分の未来と比較しながら夢を語るようにする。 ・夢についている人の気持ちに寄り添うようにする。 ・「夢」が実現したとしても、努力し続けることの意味が分かるようにする。 ・うかがった夢を友だちと交流することで、自分の考えと友だちの考えを比べ、新たな視点に気付くようにする。 ・「未来の自分」を想像して、未来	⑩自分の夢を思い描き、自分なりに価値を見出している。 ⑪「夢」が実現しなくても、努力し続けることの意味が分かるようにする。 ⑫うかがった夢を友だちと交流することで、自分の考えと友だちの考えを比べ、新たな視点に気付くようにする。	うかがった夢を友だちと交流することで、自分の考えと友だちの考えを比べ、新たな視点に気付くようにする。